

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

| 区分 | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------------------------|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | ○ | | プログラムによって、レイアウトを変える等の工夫をしている。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | | ○ | トイレ、階段などは特に狭く、配慮が足りていないと感じている。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 職員ミーティングを定期的に行い、問題解決や業務改善に努めている。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 今後平成30年2月にアンケートを実施。今後集計したものを職員間で共有し、改善につなげていく。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページ上で公開している。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 適切な外部評価システムが、まだできていない |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 定期的に研修会等に参加している。 |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 医療機関等が発行した診断書や検査結果を保護者に提出してもらっている。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っているか | | ○ | | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 休日には外出や調理実習等平日では行えない支援を取り入れている。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | | ○ | その日の送迎の状況によって行えていない。今後は実施できるよう調整中である。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | | ○ | | 記録を書く職員が偏ってしまっている。全員が記録を書き共有できるようにする。 |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | | ○ | | | |

| 区分 | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など | |
|----------------------|--|--|---------------|-----|----------------|---|
| 関係機関 や保護者 との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画しているか | ○ | | | 管理者が参画している。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っているか | ○ | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ているか | | | ○ | 医療的ケアの必要な児童が在籍していな い。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等しているか | | | ○ | 該当者なし |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けているか | | ○ | | 研修には参加しているが、専門機関と連携 をしての研修については今後の課題であ る。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 しているか | ○ | | | 発達部会等には参加している。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか | ○ | | | 連絡帳や送迎時にその日の様子や課題を 保護者に伝えている。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか | | | ○ | 今後検討していく。 | |
| 保護者への説明 責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか | ○ | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いるか | ○ | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか | | | ○ | 今後検討していく。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応しているか | ○ | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか | ○ | | | 活動の様子の発信は、ブログで行ってい る。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 個人情報等のファイルは鍵付の書庫に保 管している。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | |

| 区分 | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|--|----|---------------|-----|--|
| 非常時等の 対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | 職員間で周知はされているが、保護者には周知されていない。今後検討していく。 |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | | ○ | | 年2回実施予定。 |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | 現在該当者なし。 |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | おやつ等の原材料名を充分確認したうえで提供している。保護者にも確認している。 |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | | ○ | |